ONKYO®

2chデジタルワイヤレスオーディオヘッドホンシステム

MHP-A1

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に裏表紙に記載の保証書とともに大切に保管してください。

MHP-A1(00Cover)(SN29344362) 1 06.7.21, 6:27 PM

ブラック

主な特長

■ 2.4GHz周波数の電波で高速デジタル転送

赤外線方式と違い、プラズマテレビの放射赤外光にも影響を受けず快適に楽しめます。

■ 直線約30mの到達距離、360度のフリーリスニングエリア

(ご使用の環境によって異なります。鉄筋コンクリート製の壁や金属性ドアなどには電波が遮られる場合があります。)

■ ステレオミニジャック2系統装備

■ デジタル入力端子として光1系統、同軸1系統装備

■ デジタル入力ソースを他のAV機器と同時に使用できるデジタルスルー出力端子装備

ソース機器にデジタル出力が1系統しかなく、しかもお手持ちのAVレシーバーなどと同時に使用したい場合に便利です。

■ 伝送ロスを防ぐ金メッキ入力端子装備（アナログRCA/ミニジャック/同軸デジタル）

■ 自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能

電池の消耗を防ぎます。

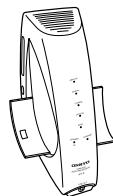
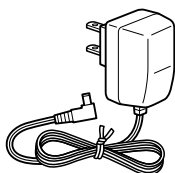
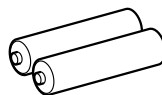
■ 専用ニッケル水素電池付属

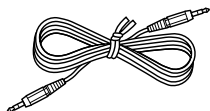
■ プロセッサーにヘッドホンを置くだけで簡単充電可能

付属品を確認する

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表わしています。

●ヘッドホン（WR-2)(1）

●プロセッサー（WT-2)(1）

●ACアダプター（1）

●専用ニッケル水素電池（2）

＊充電してからご使用ください。

●ステレオミニプラグケーブル（1m)(1）

●オーディオ用ピンコード（1m)(1）

●光デジタルケーブル（1m)(1）

＊保護キャップを外してから接続してください。

●取扱説明書（保証書付)(本書 1）
●お客様登録カード（1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

付属品の形状は、改良のため予告なく変更する場合があります。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない

●電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となりますので、使用しないでください。

■ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない

●電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となりますので、使用しないでください。

■ 本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する

●電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 故障したままの使用はしない

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに使用を中止し、ACアダプターを抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

⚠警告

■ 改造しない

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ 水のかかるところに置かない

●風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにACアダプターを抜いて販売店にご連絡ください。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

●万一、誤って本機を落とした場合や、破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。ACアダプターを抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

●雷が鳴りだしたら、本機には触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●市販の乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠警告

■ 付属のACアダプター以外のACアダプターを使用しない

●火災・故障やけがの原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●交流100ボルト以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器と接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

■ ACアダプターの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

ACアダプターをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 充電式電池について

●付属の充電式電池は他の機器に使用しないでください。この電池は本機専用です。
●専用の充電器以外で充電しないでください。
●金属類と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。ショートの原因となります。

●外装のチューブを剥がしたり、傷つけたりしないでください。
●電池が液漏れや変色・変形したときは使わないでください。
●長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
●充電式電池は分解しないでください。

■ 点検について

●お手入れの際は、安全のためACアダプターを抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

■ かゆみ・違和感を感じたら使用しない

●使用中にかゆみ・違和感を感じたときは、すぐに使用を中止して医師にご相談ください。

ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池のリサイクルについて

Ni-MH

ニッケル水素電池は、貴重な資源を使用しています。
ご不要になった充電式電池は破棄せず、端子にセロハンテープなどを貼り、絶縁してから充電式電池リサイクル協力店へお渡しください。
充電式電池のリサイクルについては、社団法人電池工業会ホームページをご覧ください。

http://www.baj.or.jp/

ニッケル水素電池のご注意：

電池から漏れた液が目に入ったときは、失明の原因となることがありますので、こすらずにきれいな水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。
  また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

２．４ＤＳ４

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS：DS-SS変調方式を表します。
4：与干渉距離は40mです。

- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
  - ２.４ＧＨｚ用周波数帯域を利用する、無線ＬＡＮ、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。
    電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。
    音声や映像にノイズがのることがあります。

本機を使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかにご使用の周波数を変更するか、使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター（本書２１ページに記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター（本書２１ページに記載）へお問い合わせください。

各部の名前と主な働き

■ ヘッドホン

左耳(L)側

電池ホルダー
付属の充電式電池を入れます。OPEN ▶表示の向きに回して開けます。

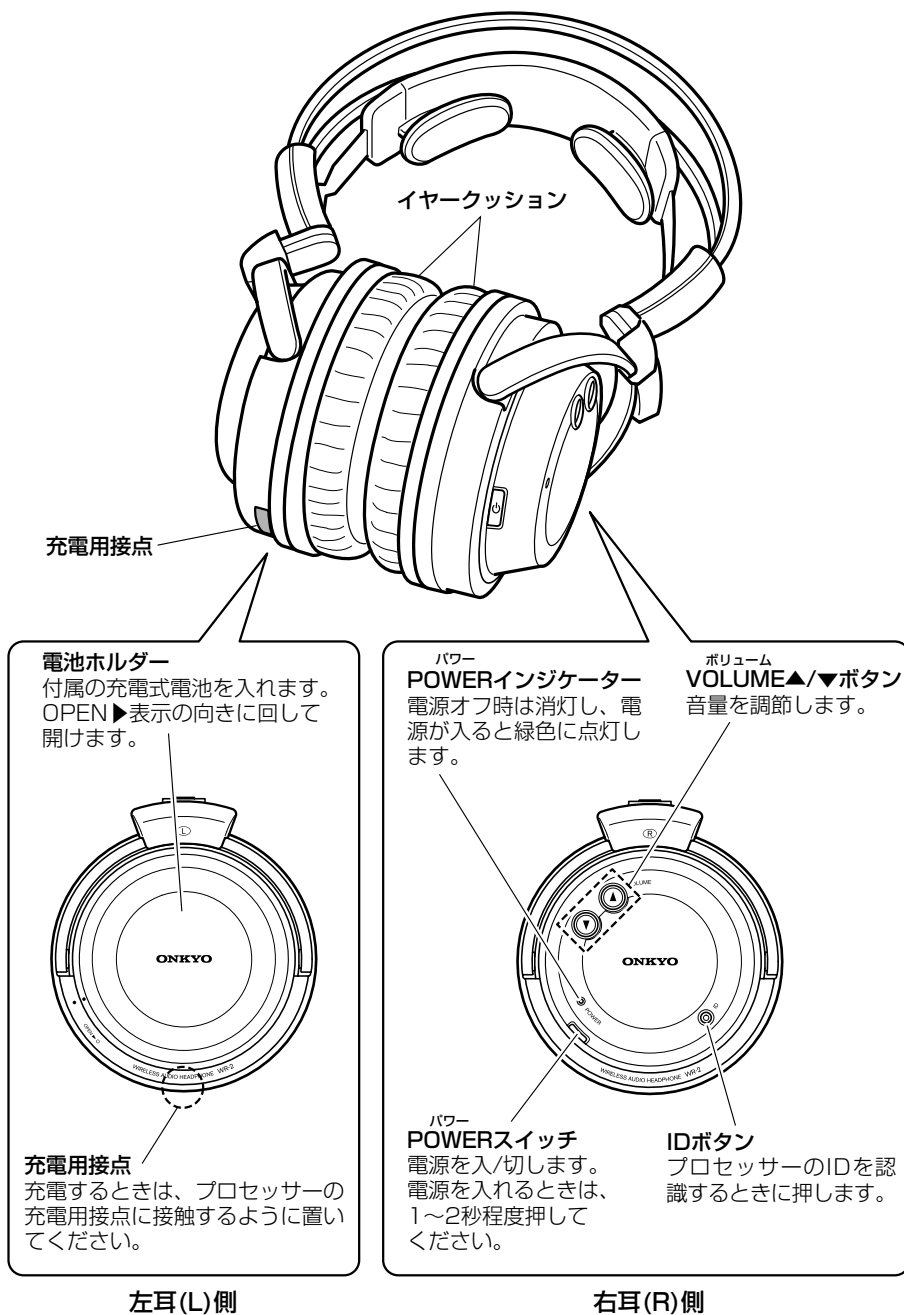
充電用接点
充電するときは、プロセッサーの充電用接点に接触するように置いてください。

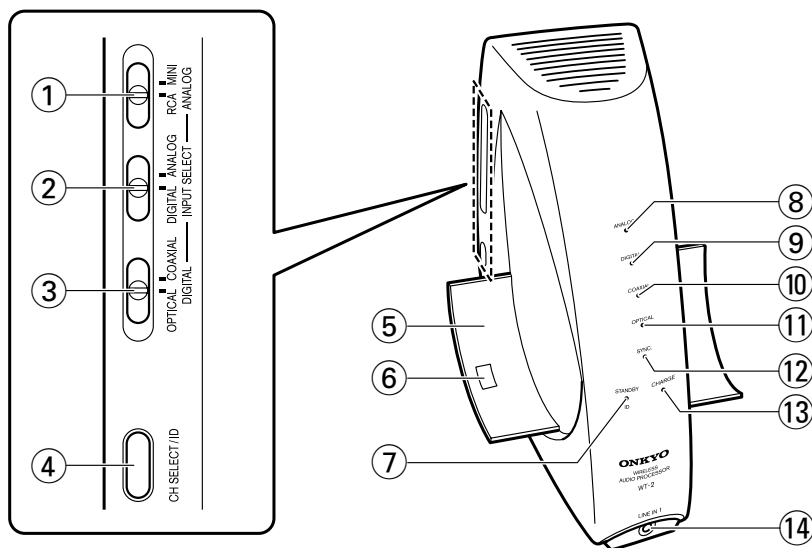
右耳(R)側

POWER（パワー）インジケーター
電源オフ時は消灯し、電源が入ると緑色に点灯します。

VOLUME（ボリューム）▲/▼ボタン
音量を調節します。

POWER（パワー）スイッチ
電源を入/切します。電源を入れるときは、1～2秒程度押してください。

IDボタン
プロセッサーのIDを認識するときに押します。

各部の名前と主な働き

■ プロセッサー（前面/側面）

① RCA/MINI（ミニ）切換スイッチ
RCA入力かミニプラグ入力かを選びます。

② DIGITAL（デジタル）/ANALOG（アナログ）切換スイッチ
デジタル入力かアナログ入力かを選びます。

③ OPTICAL（オプティカル）/COAXIAL（コアキシャル）切換スイッチ
光デジタル入力か同軸デジタル入力かを選びます。

④ CH（チャンネル） SELECT（セレクト）/IDボタン
ヘッドホンにIDを認識させるときや、周波数を変更するときに押します。

⑤ ヘッドホン受け（左右）
ヘッドホンをのせます。

⑥ 充電用接点
充電するときは、ヘッドホンの充電用接点を接触するように置いてください。

⑦ STANDBY（スタンバイ）/IDインジケーター
スタンバイ時に赤く点灯します。
ID認識中は赤く点滅します。

⑧ ANALOG（アナログ）インジケーター
アナログ入力を選んでいるときに点灯します。

⑨ DIGITAL（デジタル）インジケーター
デジタル入力を選んでいるときに点灯します。

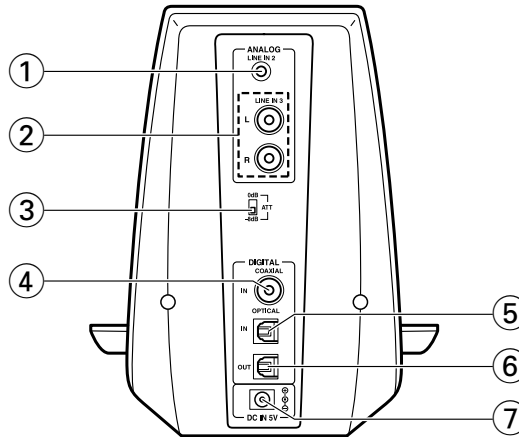
⑩ COAXIAL（コアキシャル）インジケーター
同軸デジタル入力を選んでいるときに点灯します。

⑪ OPTICAL（オプティカル）インジケーター
光デジタル入力を選んでいるときに点灯します。

⑫ SYNC.（シンクロ）インジケーター
電波を発信しているときに点灯します。

⑬ CHARGE（チャージ）インジケーター
充電中は赤く点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。

⑭ LINE（ライン） IN（イン） 1端子
付属のステレオミニプラグケーブルを使ってポータブルプレーヤーなどのヘッドホン端子と接続します。

■ プロセッサー（後面）

① ANALOG（アナログ） LINE（ライン） IN（イン） 2（ステレオミニプラグ）端子

付属のステレオミニプラグケーブルを使ってポータブルプレーヤーなどのヘッドホン端子と接続します。

！ヒント

LINE IN 1端子とLINE IN 2端子が接続されているときは、LINE IN 1端子からの音声が優先されます。

② ANALOG（アナログ） LINE（ライン） IN（イン） 3(RCA)L/R端子

付属のオーディオ用ピンコードを使って、テレビなどAV機器のアナログ音声出力端子と接続します。

③ ATT（アッテネーター）切換スイッチ

アナログ入力の音声が小さい場合は「0dB」に切り換えてください。お買い上げ時の設定は「−8dB」です。

④ DIGITAL（デジタル） COAXIAL（コアキシャル） IN（イン）端子

市販の同軸デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーなどのデジタル音声出力端子と接続します。

⑤ DIGITAL（デジタル） OPTICAL（オプティカル） IN（イン）端子

付属の光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーなどのデジタル音声出力端子と接続します。

⑥ DIGITAL（デジタル） OPTICAL（オプティカル） OUT（アウト）端子

DIGITAL COAXIAL IN端子またはDIGITAL OPTICAL IN端子から入力した信号をそのまま出力します。AVアンプなどに信号を分岐させるときに接続してください。

⑦ DC IN（イン） 5V端子

付属のACアダプターを接続します。

接続をする

接続の前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ACアダプターは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

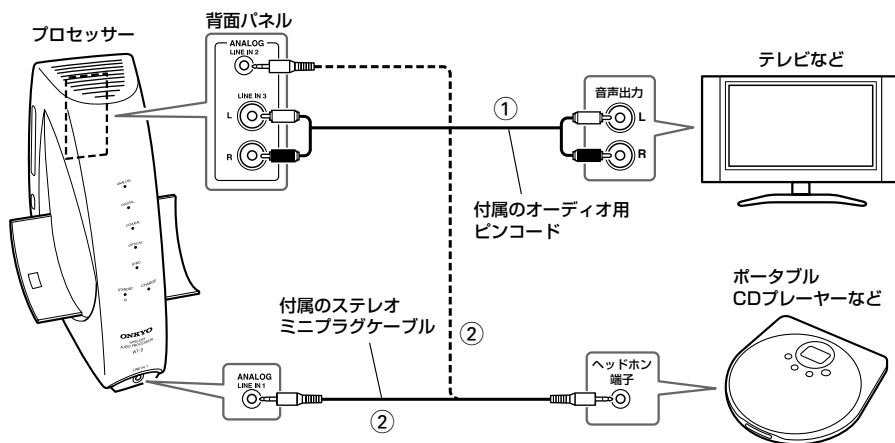
- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

光デジタル入力端子/出力端子について

本機の光デジタル端子はすべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

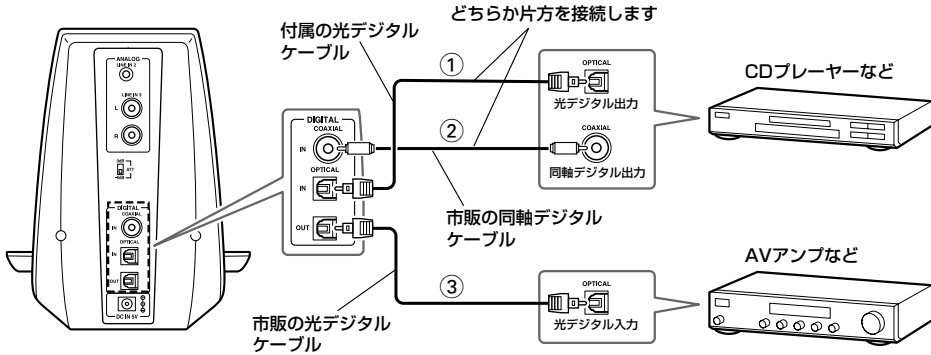
- 光デジタルケーブルの先端には、保護キャップが付いています。キャップを外してから接続してください。
- 光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

ポータブルプレーヤーやテレビと接続する

① 付属のオーディオ用ピンコードを使って、テレビなどの音声出力端子とプロセッサー後面パネルのANALOG（アナログ） LINE（ライン） IN（イン）3 L/R端子を接続します。

② 付属のステレオミニプラグケーブルを使って、ポータブルCDプレーヤーなどのヘッドホン端子とプロセッサー前面のLINE（ライン） IN（イン）1または後面パネルのANALOG LINE IN2端子と接続します。

！ヒント

LINE IN 1端子とLINE IN 2端子が接続されているときは、LINE IN 1端子からの音声が優先されます。

CDプレーヤーなどのデジタル機器と接続する

① 付属の光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーなどの光デジタル出力端子とプロセッサー後面パネルのDIGITAL OPTICAL IN端子を接続します。

② または、市販の同軸デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーなどのデジタル音声出力端子とプロセッサー後面パネルのDIGITAL COAXIAL IN端子を接続します。

③ AVアンプなどにデジタル入力を分岐するときは、市販の光デジタルケーブルを使ってプロセッサー後面パネルのDIGITAL OPTICAL OUT端子とAVアンプなどの光デジタル入力端子を接続します。

重要

- 本機は、DTSやドルビーなどのPCM以外の信号に対応していません。DVDプレーヤーなどと接続するときは、再生機器のデジタル出力をPCMに設定してください。PCM以外の信号が入力されると、音が出ないかノイズを発生することがあります。
- 本機は、96kHzのサンプリング周波数に対応していません。DVDプレーヤー側のPCM出力設定を48kHzにしてお使いください。96kHzのデジタル信号を再生すると、音が出ないかノイズを発生することがあります。

！ヒント

DIGITAL OPTICAL OUT端子には、DIGITAL OPTICAL IN端子またはDIGITAL COAXIAL IN端子からのデジタル入力信号がそのまま出力されます。プロセッサー側面のOPTICAL/COAXIAL切換スイッチで設定した入力を出力します。ただし、ACアダプターを接続していないときや充電中は出力できません。

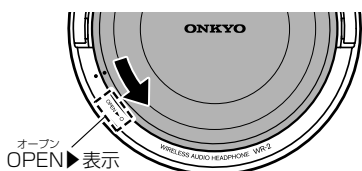
ご注意

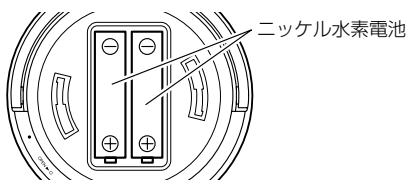
- BSチューナーなどのデジタル音声多重信号を聞く場合、本機で主音声・副音声を切り換えることはできません。ANALOG LINE IN3端子と接続して、再生機器側で主音声・副音声を切り換えてください。
- パソコンの光デジタル出力端子との接続は、動作保証いたしません。

付属のニッケル水素電池を充電する

付属のニッケル水素電池は充電してからご使用ください。プロセッサーにヘッドホンを置いて充電します。

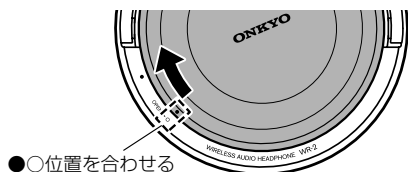
■付属の電池の入れかた

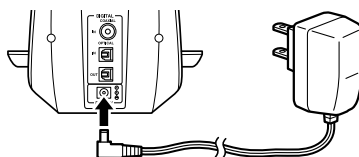
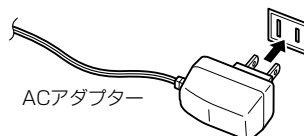
1. ヘッドホンの左耳(L)側にある電池ホルダーを表示の向きに回して開ける

2. 付属のニッケル水素電池を入れる

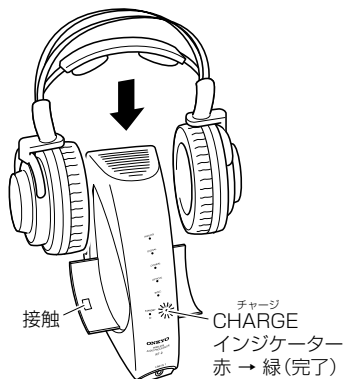
ニッケル水素電池は、電池収納部に表示されている向きに従って⊕⊖を正しく入れてください。

ご注意

付属のニッケル水素電池以外は入れないでください。

3. 電池ホルダーのふたを閉める

電池ホルダーのふたは、ヘッドホン本体の○印の位置が合うように取り付けてから回して閉めてください。

■充電する

1. 付属のACアダプターをプロセッサー後面パネルのDC IN(イン) 5V端子に接続する

2. ACアダプターを電源コンセントに接続する

3. ヘッドホンをプロセッサーに置いて充電する

ヘッドホンの左耳（L）側にある充電用接点がプロセッサーの接点に接触するように置いてください。充電中はプロセッサーのCHARGE(チャージ)インジケーターが赤く点灯します。

約6時間後に充電が完了し、CHARGEインジケーターが緑色に点灯します。

ご注意

CHARGEインジケーターが赤く点灯していないときは、充電用接点が正しく接触していません。もう一度ヘッドホンを置き直してください。

充電中のご注意

- 乾電池を入れても充電されません。
- 付属の充電式電池を他の機器に使用しないでください。
- 電池の向きは表示どおりに入れてください。
- 充電は0℃〜40℃の環境で行ってください。
- 充電中はヘッドホンや電池があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 充電中はプロセッサーの電源が自動的にオフになります。ヘッドホンはプロセッサーがオフになった後、約5分後に電源が自動的に切れます。
- 充電用接点には、あまり触らないでください。汚れなどがついて充電ができなくなる場合があります。

ACアダプターのご注意

付属のACアダプターは本機専用です、他の機器に接続して使用しないでください。また、他のACアダプターを本機に接続して使用しないでください。

■ 充電時間と使用可能時間

付属のニッケル水素電池の場合：

- 充電されていない状態から充電が終わるまでの時間：約6時間
- 充電が完了しているときの持続時間：約9時間
- 1時間充電したときの持続時間：約2時間

■ 充電式電池取り換え時期のめやす

充分に充電しても使用できる時間が著しく低下したときが取り換え時期です。
市販のニッケル水素電池とお取り換えください。

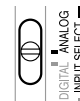
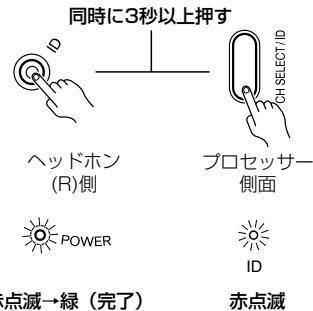
IDを認識させる

初めてお使いになるときは、一度プロセッサーのIDをヘッドホンに認識させてからご使用ください。

1. **ACアダプターをプロセッサーに接続し、ヘッドホンの電源を入れる**

2. **ヘッドホンとプロセッサーを30cm〜1m程度に近づける**

3. **プロセッサーの入力をアナログにする**

プロセッサー側面のDIGITAL(デジタル)/ANALOG(アナログ)切換スイッチを「ANALOG」側にします。

4. **ヘッドホンのIDボタンとプロセッサーのCH(チャンネル) SELECT(セレクト)/IDボタンを同時に3秒以上押す**

プロセッサーのSTANDBY(スタンバイ)/IDインジケーターとヘッドホンのPOWER(パワー)インジケーターが赤く点滅して、IDを認識します。
ヘッドホンのPOWERインジケーターが緑色に点灯したら指を離してください。

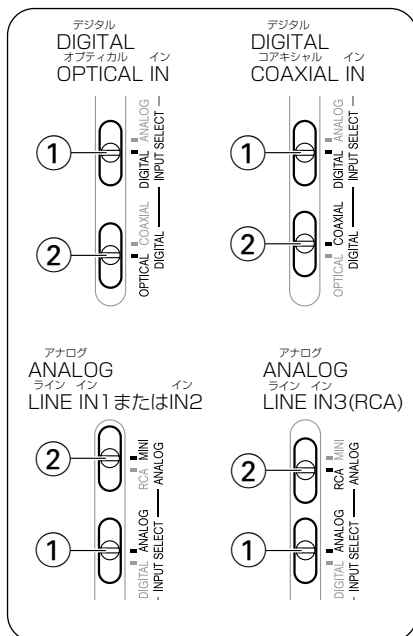
ヘッドホンを使う

ご使用の前に付属のニッケル水素電池を充電してください。

1. プロセッサーを接続した機器の電源を入れる

2. 入力を選ぶ

プロセッサー側面の入力切換スイッチで入力を選びます。

！ヒント

LINE IN 1端子とLINE IN 2端子が接続されているときは、LINE IN 1端子からの音声を聞くことができます。

ご注意

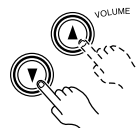
BSデジタル放送などの音声多重放送を聞く場合は、ANALOG LINE IN3端子と接続して、BSチューナー側で主音声・副音声を切り換えてください。

3. ヘッドホンの電源を入れる

ヘッドホン(R)側
1～2秒押す

ヘッドホンが信号を受信していないときは、POWERインジケーターが緑色に点滅します。

4. 接続した機器の再生を始める

5. ヘッドホンのVOLUME▲/▼ボタンで音量を調節する

■アナログ入力で音声が小さいときは

音量を最小にしてから、プロセッサーの後面パネルにあるATT切換スイッチを「0dB」にしてください。

雑音や音切れがあるときは

ヘッドホン使用中に雑音が入ったり音が途切れるときは、使用する周波数を切り換えると改善される場合があります。
本機の周波数自動調節機能で、雑音の少ない周波数を設定することができます。

1. **使用している状態で、ヘッドホンをプロセッサーに30cm～1m程度近づける**

2. **プロセッサー側面のCH SELECT/IDボタンを3秒以上押し続ける**

SYNC.
緑→消灯

プロセッサーのSYNC.インジケーターが消灯し、他のインジケーターが点滅したら、指を離してください。

手動で周波数を調節したいときは．．．

上記手順***2*** でCH SELECT/IDボタンを1秒押してください。

4段階に周波数を変更することができます。

困ったときは

まず、下記の内容を確認してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

音が出ない/小さい

- 初めてお使いになるときは、ご使用前に付属の充電式電池を充電してください。**（14ページ）**
- 初めてお使いになるときは、プロセッサーのIDをヘッドホンに認識させてみてください。**（15ページ）**
- 電池の極性（＋/－）が表示どおりに正しく入っているか確認してください。**（14ページ）**
- 入力は正しく選ばれていますか？プロセッサー側面の入力切換スイッチで入力を選んでください。**（16ページ）**
- ヘッドホンのPOWERインジケーターが消灯していませんか？
  ヘッドホンがオフになっています。POWERボタンを押してヘッドホンの電源を入れてください。**（16ページ）**
- ヘッドホンの音を上げてください。**（16ページ）**
- アナログ入力で音が小さい場合は、プロセッサー後面のATTスイッチで「0dB」に設定してください。**（16ページ）**
- AVアンプなどのヘッドホン端子と接続している場合は、AVアンプ側でも音量を上げてください。
- 接続した再生機器でのデジタル出力の設定を確認してください。DVD対応のゲーム機など、機器によっては初期設定でデジタル出力がオフになっていることがあります。
- 本機は、DTSやドルビーの信号に対応していません。再生機器のデジタル出力をPCMに設定してください。
- 本機は、96kHzのサンプリング周波数に対応していません。再生機器側で48kHzにしてください。

雑音が多い/音がひずむ

- プロセッサーのCH SELECT/IDボタンを3秒以上押して周波数を自動調節してください。**（17ページ）**
- 近くにラジオやBS/CSアンテナがある場合、混信することがあります。
- 無線LANや電子レンジ等、2.4GHzの周波数帯域を使用する機器の近くでは音が途切れることがあります。
- プロセッサーとヘッドホンの間に障害物があると音が途切れることがあります。
- アナログ入力の音声がひずむときは、プロセッサー後面のATTスイッチを「－8dB」側にしてください。**（16ページ）**
- 本機は、DTSやドルビーの信号に対応していません。再生機器のデジタル出力をPCMに設定してください。
- 本機は、96kHzのサンプリング周波数に対応していません。再生機器側で48kHzにしてください。

音声多重信号の切換をするには

- デジタル音声多重信号を聴く場合、本機で主音声・副音声を切り換えることはできません。ANALOG LINE IN3端子と接続して、再生機器側で主音声・副音声を切り換えてください。
- アナログ音声多重信号は再生機器側で主音声・副音声を切り換えてください。

充電できない

- CHARGEインジケーターが点灯していないときは、充電用接点が正しく接触していません。プロセッサーのCHARGEインジケーターが赤く点灯するようにもう一度ヘッドホンを置き直してください。**（14ページ）**
- 電池の極性（⊕/⊖）が表示どおり正しく入っているか確認してください。**（14ページ）**

デジタル出力できない

- ACアダプターを接続していないときや、充電中はDIGITAL OPTICAL OUT端子から出力できません。

●ヘッドホンのPOWERインジケーターが緑色に点滅しているときは

1.プロセッサーがスタンバイ状態になっていませんか？
2.デジタル入力を選んでいるときに、接続した機器が停止していませんか？

➡ヘッドホンが信号を受信していないときは、POWERインジケーターが点滅します。
接続機器を再生してみてください。

それでも点滅しているときは、IDが認識されていません。15ページをご覧になり、IDの認識を行ってください。

主な仕様

■ ワイヤレスオーディオヘッドホン（WR-2）

形式：ダイナミック型
ドライバーユニット口径：40mm
再生周波数帯域：20～20,000Hz
質量：370g（付属のニッケル水素電池含む）
電源：付属のニッケル水素電池（2500mAh）×2

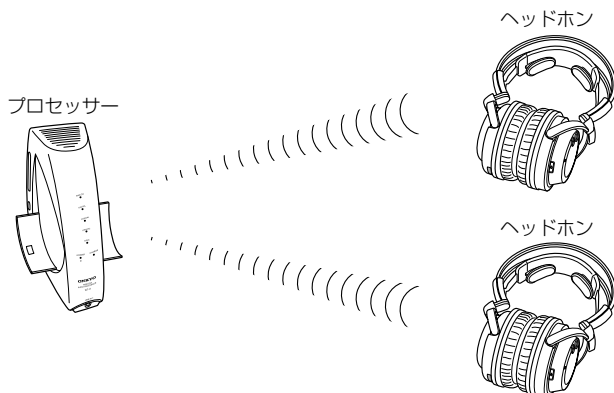
■ ワイヤレスオーディオプロセッサー（WT-2）

伝送帯域：2.4GHz帯（2400MHz～2483.5MHz）
到達距離：30m
電源：DC 5V（付属のACアダプター使用）
質量：420g
入力端子： 光デジタル×1、同軸デジタル×1
RCAステレオ×1
φ3.5ステレオミニジャック（フロント×1、リア×1）
出力端子：光デジタル×1
消費電力：2.75W
外形寸法： 142（幅）×167（奥行）×180（高さ）mm

※仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

ヘッドホンを増設する / イヤークッションを交換する

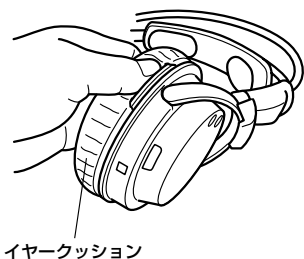
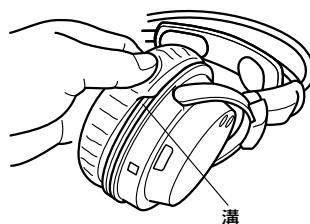
ヘッドホンを増設する

専用オプションのヘッドホン（WR-1 別売）を増やせば、複数で同時に映画や音楽を楽しめます。ご使用の前に、本機のプロセッサーのIDを増設するヘッドホンに認識させてください。（☞15ページ）
受信可能な場所であれば、何台でも増設が可能です。

ご注意

増設するヘッドホンの充電は、本機のプロセッサーで行います。
ただし、充電中はプロセッサーが自動的にスタンバイ状態になりますので、他のヘッドホンもご使用いただけません。

イヤークッションを交換する

本機のイヤークッションは消耗品ですので、長時間使用すると汚れたり、破損することがあります。オンキヨーコールセンターへお問い合わせの上、イヤークッションをお取り寄せください。
イヤークッションは以下のように交換してください。

1.消耗したイヤークッションを引っ張って取り外す

2. 新しいイヤークッションを溝に沿わせながら取り付ける
最後に、溝に沿うようにイヤークッションを回すと、きれいに取り付けることができます。

修理について

■ 保証書
保証書は、本取扱説明書に付属しています。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ACアダプターを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または下記のサービスセンターまでお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　MHP-A1
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ 保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターへご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は
お買い上げの販売店、またはオンキヨーサービスセンターへご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げの販売店、またはオンキヨーサービスセンターへご相談ください。

ONKYO®

オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

■ 製品についてのご相談、カタログのご請求

お客様ご相談窓口	コールセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ WEB　:　http://www.jp.onkyo.com/support/ ＊ TEL　:　050－3161－9555　＊ FAX　:　072－831－8124 ＊ 郵便　:　〒572－8540　大阪府寝屋川市日新町2－1 オンキヨー株式会社　コールセンター

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページ。　→ http://www.jp.onkyo.com/
快適なオーディオライフをサポートするセレクトショップ。　→ http://www.e-onkyo.com/

修理のご依頼は、取扱説明書の「困ったときは」、「故障かな?と思ったときは」または「故障?と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。
転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

■ 修理についてのご相談、ご依頼

修理窓口	首都圏サービスセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ TEL　:　050－3161－9555（コールセンター）　＊ FAX　:　03－5819－2940 ＊ 住所　:　〒130－0004　東京都墨田区本所2丁目16－5　6階
	大阪サービスセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ TEL　:　050－3161－9555（コールセンター）　＊ FAX　:　072－831－8124 ＊ 住所　:　〒572－8540　大阪府寝屋川市日新町2－1

2006年8月現在　お客様ご相談窓口・修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。
（http://www.jp.onkyo.com/support/ で最新の名称、所在地、電話番号をご覧いただけます）

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日
ご購入店名：
Tel. ( )
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30〜17：30
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

G0607-1

SN 29344362

ONKYO® 音響映像機器保証書 持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターに修理をご依頼ください。

品 番		MHP-A1	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前　　様		保証期間（お買い上げ日より）	本体　1 年
	ご住所　〒		取扱販売店名・住所・電話番号	
	電話番号　（　）			

●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキヨー株式会社　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2番1号

お問い合わせ先　オンキヨーコールセンター　050(3161)9555

〈無料修理規定〉

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保証するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターにて無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターにご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーコールセンターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)、水掛かり等による故障および損傷
   5) 一般家庭用以外(例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷
   6) 消耗品（イヤークッション等）の交換
   7) 本書の提示がない場合
   8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   9) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって本書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の修理､補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書21ページをご覧ください。

※ **本製品の製造番号(SERIAL)は、プロセッサーの底面に記載されています。**

キリトリ線